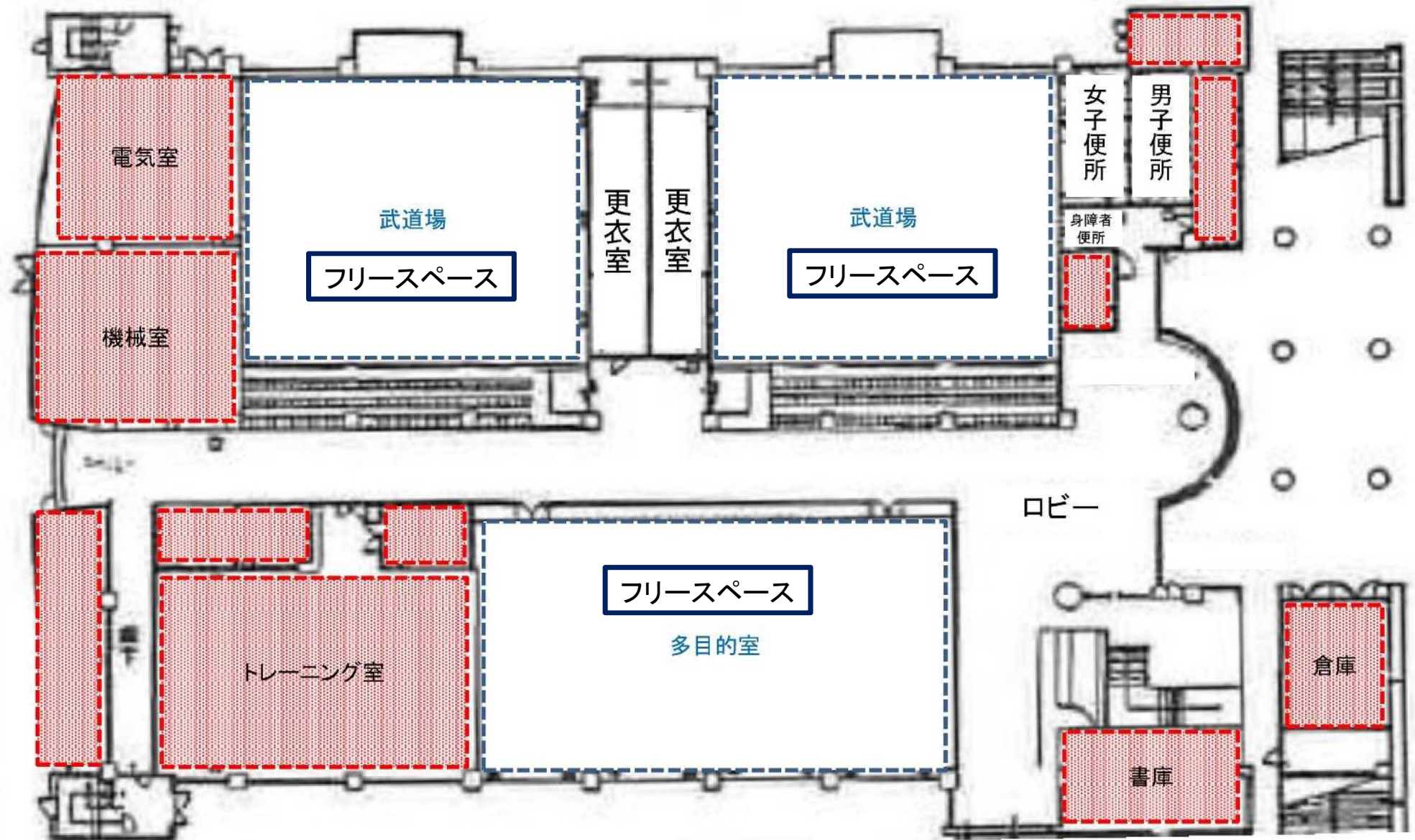


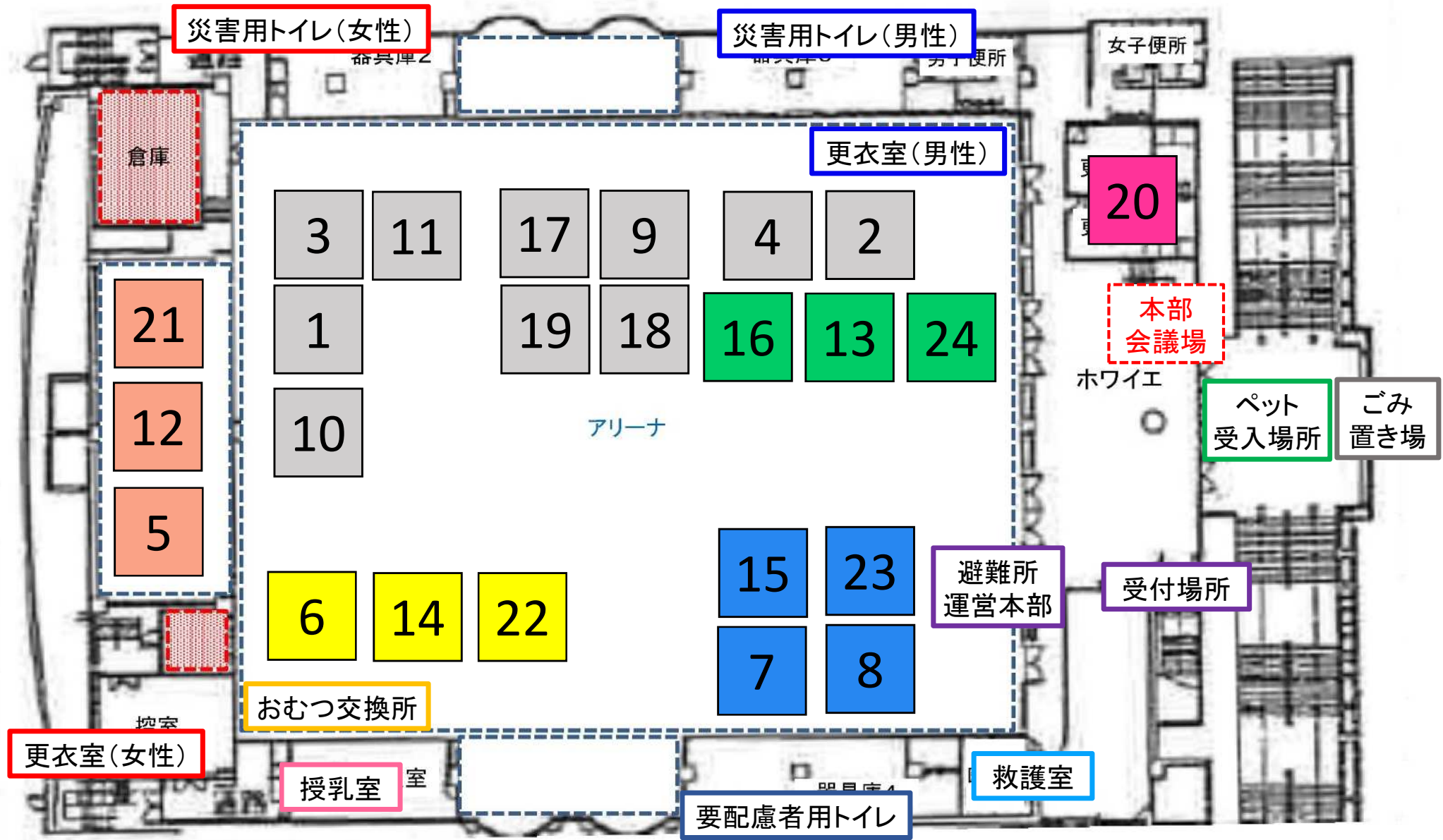
【総合社会教育センター】 総合体育館1F

Aグループ



【総合社会教育センター】 総合体育館2F

Aグループ

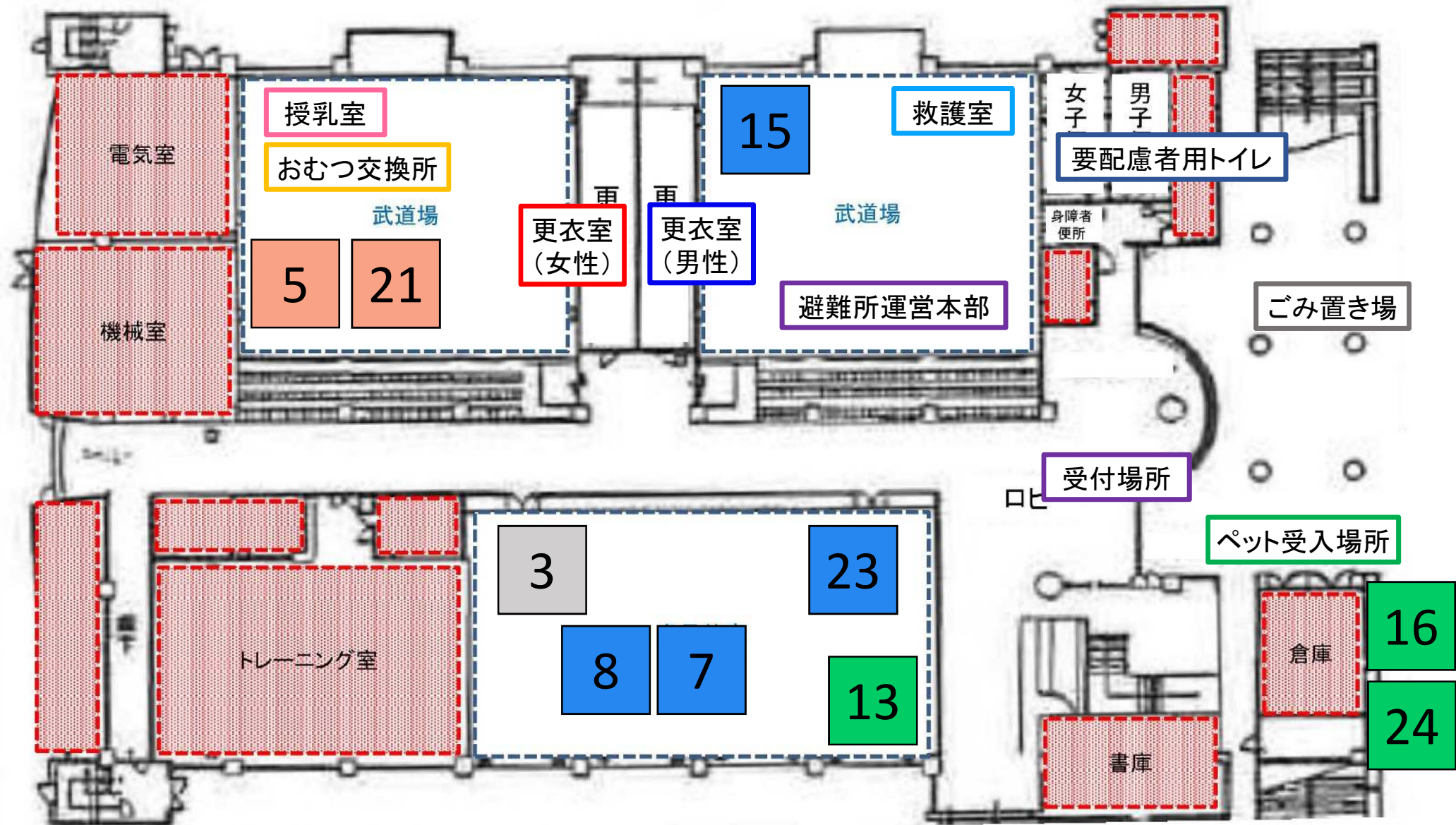


【Aグループ】

- ・南海トラフ地震を想定し、津波浸水の可能性を考えて1階を使用しない方針ですすめた。脅威がなくなった場合には、必要に応じて1階を使っていく。
- ・要配慮者を、本部、救護室、要配慮者トイレの近くに配置した。
- ・子育て世帯を授乳室、おむつ交換所の近くに配置し、0歳児がいる世帯は舞台上にパーテーションで仕切る。
- ・幼児がいる世帯は、出入りがしやすい出入口近くに配置した。
- ・ペットはアレルギー等の人がいることを考慮し、外に配置した。飼い主は、ペットを安心させるため、ペット受入場所に近い室内に配置した。
- ・若い世帯は、物資等の運搬等を手伝ってもらえるように、本部や入口の近くに配置した。
- ・インフルエンザの人は隔離するために更衣室に配置した。

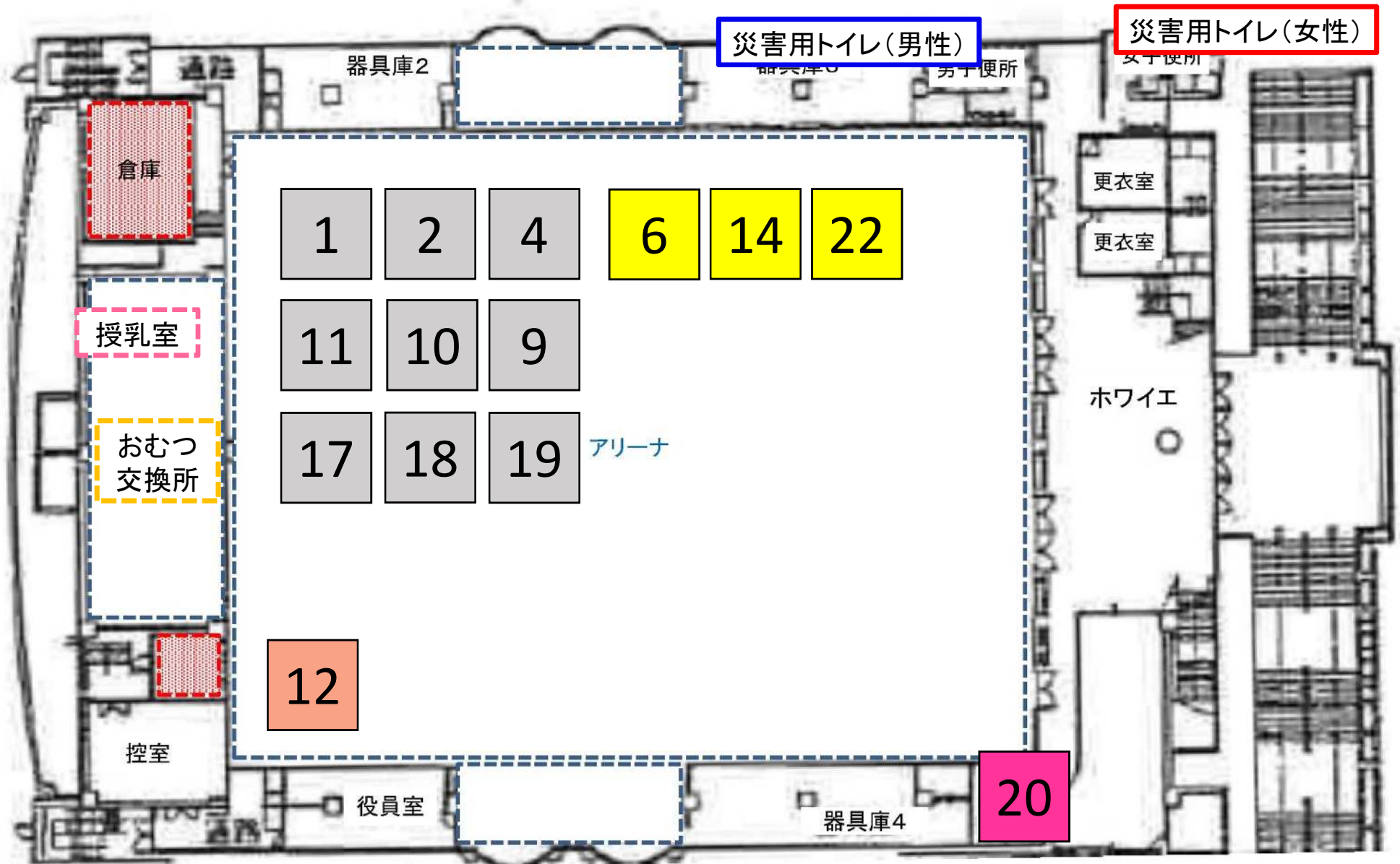
【総合社会教育センター】 総合体育館1F

Bグループ



【総合社会教育センター】 総合体育館2F

Bグループ

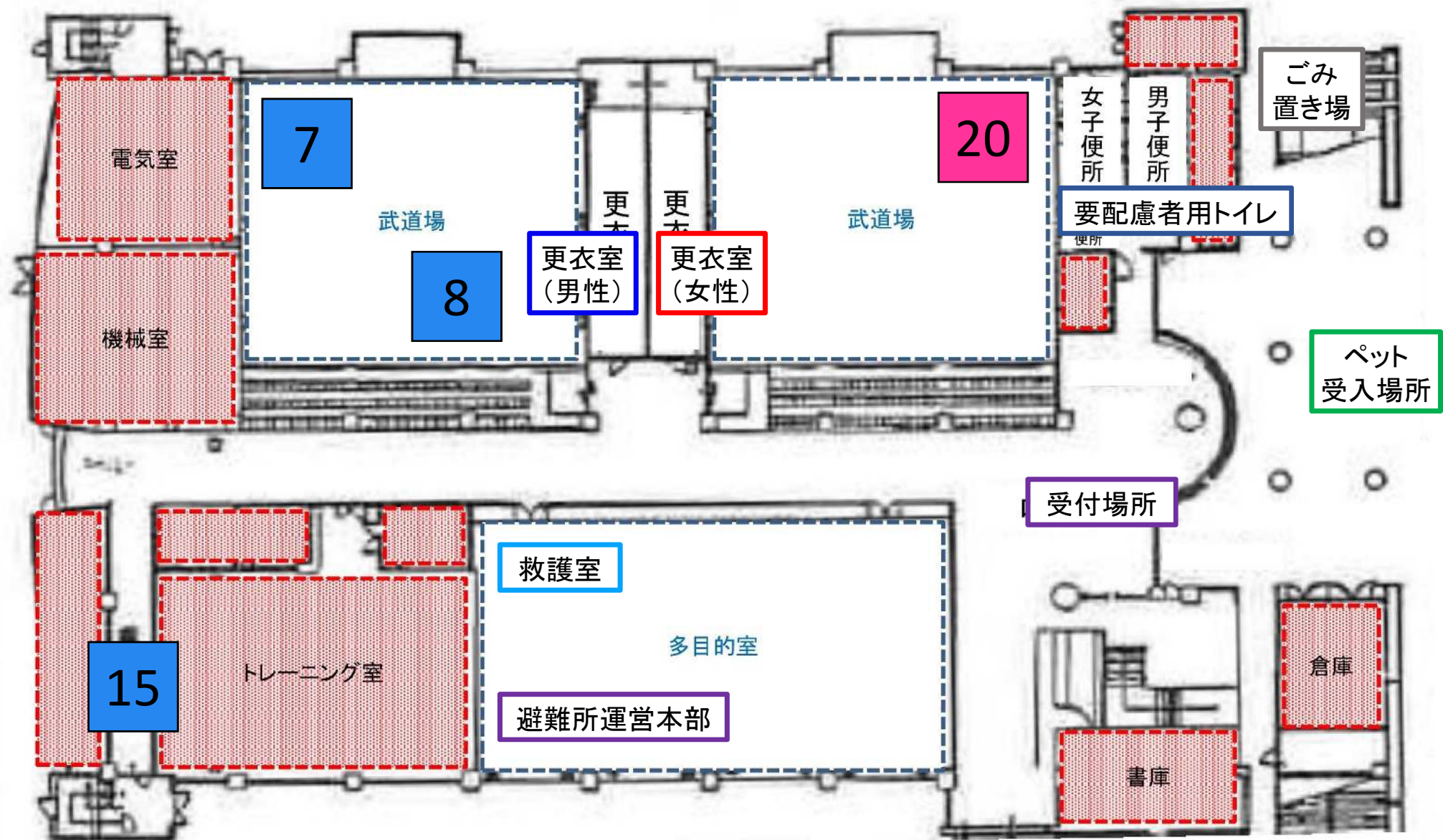


【B グループ】

- ・要配慮者、高齢者は1階で受け入れをする
- ・地域性を考慮して、隣の家、同居世帯は近くに配置した。
- ・子どもがいる世帯は、遊べるように広い場所にした。
- ・ペットについては、高齢の飼い主の方は室内に配置し、他の方は、外の屋根がある場所(テントなどを利用)に配置した。
- ・妊婦さんは、体調を考慮して1階に配置した。
- ・インフルエンザは、感染を考慮して個室で対応した。
- ・トイレについては、要配慮者のために近いところへ設置した。
- ・1階にも災害用トイレを設置すればよかった。
- ・母子のみの世帯については、同じスペースで助け合えるようにした。

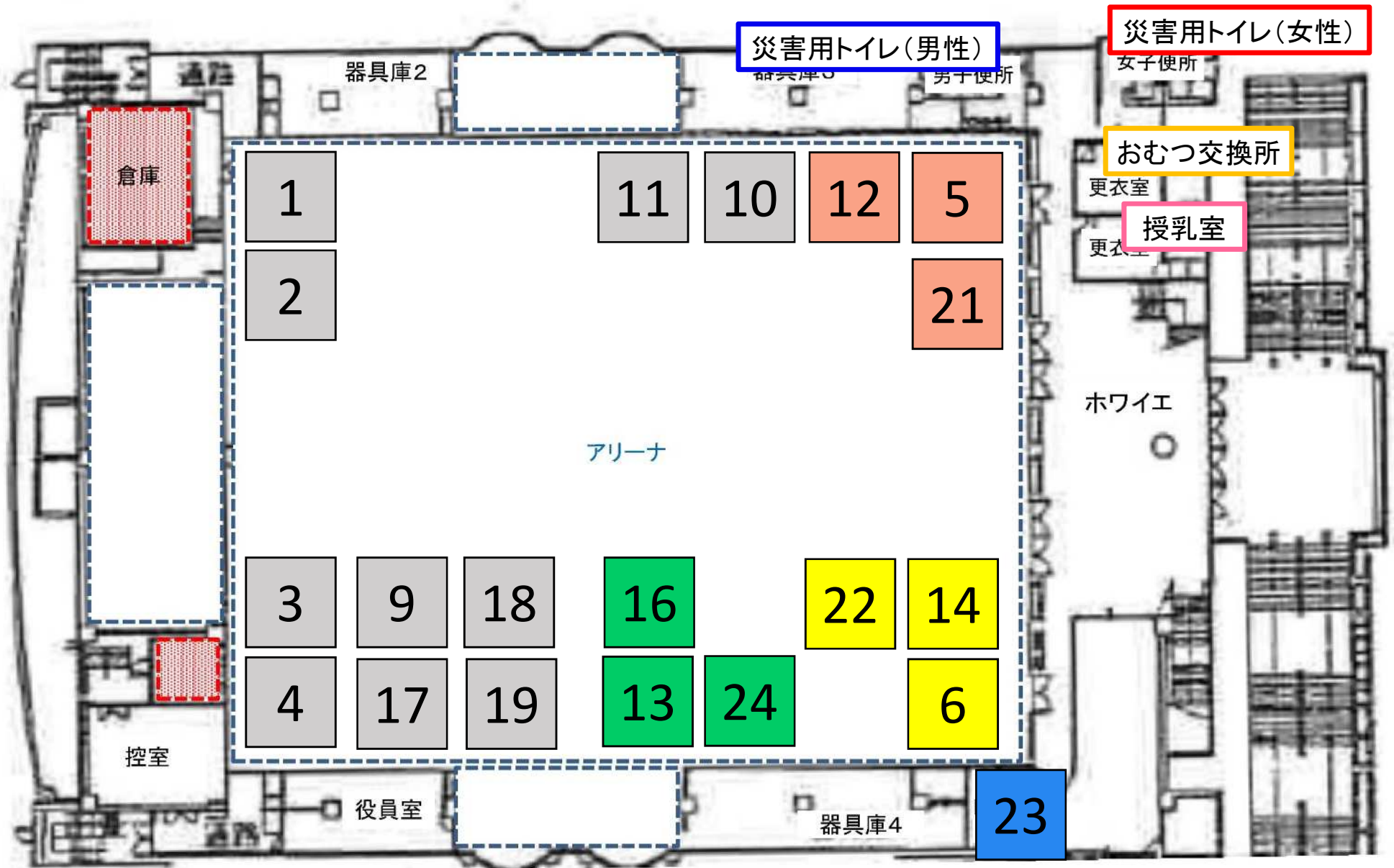
【総合社会教育センター】 総合体育館1F

Cグループ



【総合社会教育センター】 総合体育館2F

Cグループ



【C グループ】

- ・病気の人は、感染拡大を防ぐために隔離した。
- ・車椅子の方が移動しやすいようにフローリングに配置し、救護室が近くなることも考慮した。
- ・障がいがある方はコミュニケーションが苦手なので、刺激が少ない場所に配置した。
- ・既存の更衣室を活用した。
- ・赤ちゃんがいる世帯は、授乳室とおむつ交換所の近くに配置した。
- ・ホワイエを遊び場として、子どもがいる世帯を近くに配置した。
- ・ペットは階段下の屋根があるスペースに受け入れた。
- ・妊婦さんは、医務室に配置した。
- ・顔見知りになるべく近くに配置した。

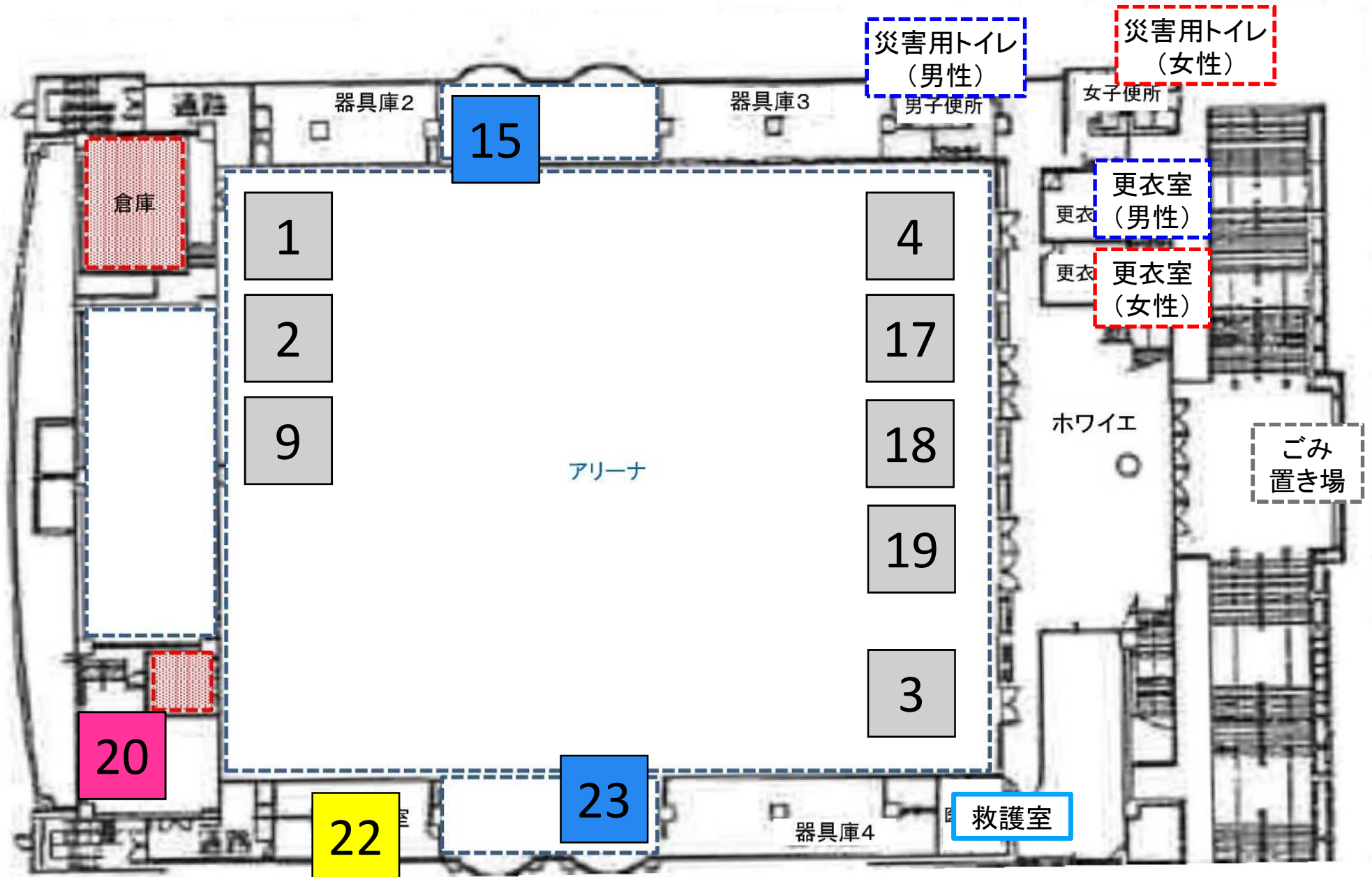
【総合社会教育センター】 総合体育館1F

Dグループ



【総合社会教育センター】 総合体育館2F

Dグループ



【D グループ】

- ・トイレ、更衣室は、既存のものを利用して、1階、2階それぞれで使えるようにしておく。
- ・ゴミ置き場も1階、2階それぞれに設置をした。
- ・授乳室、おむつ交換所は、たたみの部屋で寝転がって使えるように考慮し、配置した。
- ・車椅子の方は1階にして、要配慮者トイレも近くにした。
- ・ペットがいる場合は、1階(外、屋根付き)で受け入れ、飼い主の方が世話をしやすいように1階に促す。ペットはゲージに入れてもらうことは基本だが、無い場合にはリードをつけてもらう(テントの利用も)。
- ・インフルエンザ等疾病がある方は、扉で仕切れるところに配置した。
- ・妊婦さんは、パーテーションを置き、疾病がある方、高齢者と共に、救護室の近くに配置して、何かあればすぐに
対応できるようにしておく。
- ・泣いている子供、コミュニケーションに不安な方は、静かな場所や扉があるところ、少人数で過ごせるところへ促す。

- ・健常者は、2階に行ってもらようようにする。
- ・避難者を誘導する際、施設の把握をしていないと難しいため、施設のレイアウトや部屋の写真などがあると、サポートしやすいと感じた。